

## 「高知とラオスを結ぶ国際協力活動」(生徒会執行部)

### (2) 世界に架ける「はりまや箸」プロジェクト

実は、「はりまや橋商店街」は全国で初めての木造アーケードとして注目を浴び、昨年で10周年を迎えました。私たちは、ラオスに学校を贈る国際協力活動に取り組んでおり、その活動の一環として、私たちがラオスで買い付けてきたラオス商品を「はりまや橋商店街」で販売する「はりまやストリートフェスティバル」を開催しています。

今年の活動は10周年を記念して、商店街名の由来でもある観光名所「はりまや橋」をもっと売り出そうと考え、新商品の開発に取り組むことにしました。「はりまや橋」「エコ」「ラオス」、この3つを結ぶ新しい商品です。皆さんなら、どんな商品を企画しますか。約半年の準備を経て、ついに完成したのがお箸です。でも、普通のお箸ではありません。とてもエコなマイ箸です。でも、ただのマイ箸ではないです。持ち手に注目すると、高知の名所「はりまや橋」です。高知とラオスを結ぶ架け橋、その名も「はりまや箸」。私たち生徒会の提案するエコブランド、「LAOKOCHI」の新商品です。しかし、すぐに商品ができあがるものではありません。フェスティバルの販売までにたくさんの作業工程があることを知りました。

#### ● ステップ1 「間伐材の活用」

まずは、お箸の製作です。私たちは木材工芸の専門家で、昨年、間伐材でエコバックの持ち手を製作していただいた方に相談してみました。そこで、間伐材のヒノキから「はりまや橋」の欄干をイメージしたお箸を製作するためには、たくさんの作業工程があることを知りました。1本1本が手作りで時間のかかる、大変な作業です。しかし、ラオス学校建設活動の発展、環境問題の取り組み、そして高知の間伐材をラオスとの架け橋にという私たちの活動を理解していただき、快く「やってみましょう」と協力していただくことになりました。

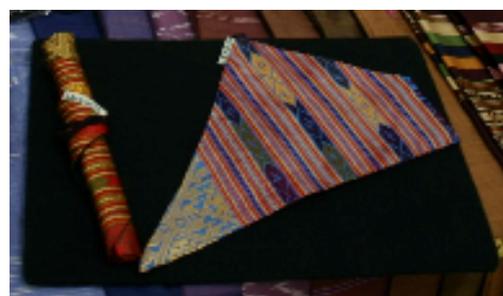
#### ● ステップ2 「塗装がポイント」

材料のヒノキは、削ったままの状態ではすぐに傷んでしまいます。そこで必要となるのが塗装ですが、直接口に入る商品のため、安全なものではないといけません。そのときに県内で様々な製品の安全試験を行い、塗料にも詳しい工学博士を紹介していただきました。早速その方を訪ね、「割り箸は塗装をしていないため安全だが、長くはもたない。環境に優しいとは、いいものを長く使ってもらおうこと。そのために塗装が必要なんだ。」とお聞きしました。そして、食品衛生法、食品添加物等の企画基準に適合した安全な塗料と、木の温もりと柔らかさを出す塗装方法を教えていただきました。私たちは自分たちの手で塗装にひと手間かけることで、商品に思いを込めました。お箸は全部で4種類、長さは21センチと24センチとしました。



#### ● ステップ3 「高知とラオスを結ぶ」

高知とラオスの架け橋とするために、ラオス



の織物で箸袋を製作することにしました。箸袋に利用する織物は、ラオス研修中に現地で仕入れ、製作を依頼するラオコットン社で直接交渉を行いました。私たちの活動にかける思いと共に、商品コンセプトやデザインを提示しながらの交渉です。予算とも相談しながら話し合いを重ね、無事交渉成立。新たなフェアトレード商品が誕生し、帰国後、完成した箸袋が日本に届きました。ラオスの織物を使い、タグにはブランド名、「L A O K O C H I」の文字を刺繍。紐の先にはボタンも付けられています。包装にも工夫を凝らし、高知とラオスを結ぶ架け橋の販売準備は最終段階。このことを商店街の方々に報告したところ大喜びでした。観光名所と商店街をアピールする絶好のチャンス。新たなモニュメントにしたいと3メートルの巨大「はりまや箸」を製作し、マイ箸販売と連携して、開会行事でのお披露目となりました。フェスティバルでは、多くのお客様に興味を持っていただき、予想を超える売れ行きとなりました。1膳1,000円と価格を設定しましたが、製作した100膳が2時間で完売。この利益がまたラオスの学校建設資金となるのです。

私たちは、「はりまや箸」の商品開発を通して、3点について学ぶことができました。

1つ目は、「はりまや橋」という地域の文化を発信することで広がったことから、国際交流活動とは、自分たちの身近なところから始まることを学びました。

2つ目は、高知県産間伐材を使用したことによる、間伐材の効果的な活用方法と塗装の必要性、そして、マイ箸による環境対策の有効性について学びました。

3つ目は、箸袋にラオスの織物を利用し、製作を現地工場に依頼することで、ラオスと日本の公平な貿易を推進でき、フェアトレードの意味について学びました。

「はりまや箸」により、高知の私たちとラオスの子供たちがつながっています。「はりまや箸」は、私たちの地域と環境をつなぎ、そして新しい国際協力活動と結びつけた、まさに架け橋となりました。

人と人をつなぐ架け橋。 新しい出会いが生まれました。

まちと笑顔をつなぐ架け橋。 地域と共に歩んでいきます。

高知とラオスを結ぶ架け橋。 世界に届け私たちの願い。

今年も「はりまや箸」の活動を継続することが決まりました。私たちの夢は、「はりまや箸」が商業から高知へ、高知から全国へ、そして世界への架け橋となることです。それが、ラオス学校建設活動と高知のアピールにつながります。

しかし、昨年度は2つの大きな課題がありました。1つ目に塗装です。私たちが1つ1つ手作業で塗装したため、時間がかかり失敗してしまうものがありました。商品価値も下がってしまったのです。また塗装がはげてしまうことがわかりました。2つ目は量です。手作りのため、生産量に限界がありました。多くのお客さまが購入を望んでいましたが、100膳しか製作することができませんでした。そこで、この2つを解決するために、お箸の製作を業者に依頼することにしました。高知県内の業者を探しましたが、見つけることができませんでした。そこで、箸の生産で有名な福井県の箸店にお願いしました。これにより、塗装と量の問題を解決することができました。今年は消費者のニーズに対応できるよう18センチ、21センチ、22.5センチと3種類製作しました。販売に向けての宣伝活動には、高知商業全体の

協力が必要です。そこで、今年6月に行ったりーダー研修で評議員に「全校での取組みにして欲しい」と提案しました。全校生徒に「はりまや箸」を購入するように訴え、評議員も販売活動に協力することをお願いしました。私たちの活動への強い思いを伝え、長い議論の結果、一緒に販売活動に取り組むことが決まりました。

### （評議員）

私たちは評議員会代表の5名です。各クラスを代表する48名が学校生活を向上させるための話し合いをして、全校的な活動をしている組織です。今年6月に開催されたりーダー研修で話し合いを深め、実行をテーマに活動に取り組んでいます。1つ目は挨拶運動です。2つ目は市商祭の質的向上で、文化祭中の清掃巡回や会場案内に取り組めます。

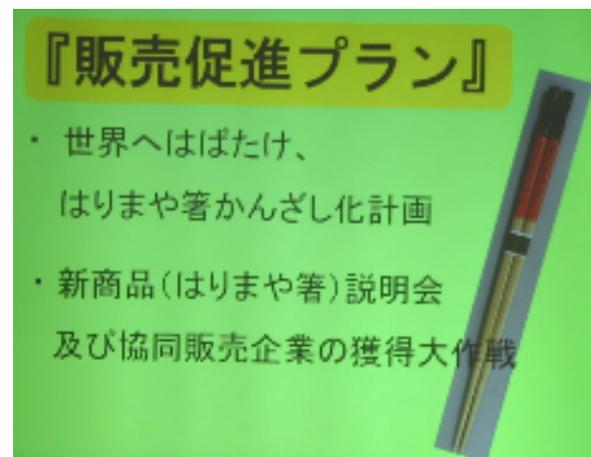
「はりまや箸」については、2つの販売促進プランを考えました。1つ目はかんざしにアレンジして、さらに高知をアピールする商品にすることです。世界に羽ばたけ「はりまや箸」かんざし化計画。このかんざしをよさこい祭りに使っていただけるよう、参加団体や企業に売り込みに行き、そして高知のよさこいだけでなく、各県を代表する祭りやよさこいソーランへの売り込みも行えればと思っています。かんざしの上の部分にはラオスの銀細工を利用して、高知とラオスをしっかりとアピールする商品へと繋がります。

続いてのプランは、「はりまや箸」が世界へ羽ばたくために、新商品説明会及び共同販売企業の「獲得大作戦」。

高知商業だけで世界へ広めるには限界があります。販売経路拡大のためには、高知の企業の力が必要です。企業側のメリットとしては、国際協力活動に取り組むことにより、社会的責任を果たすことができる。そして、高校生との共同活動によって、企業のイメージアップに繋がり、さらに高知のアピールとなります。学校側のメリットとしては、販売すると高知のアピールに繋がり、またラオス学校建設活動の一環にもなります。さらに全国で通用するためには、企業との共同開発と共同販売が不可欠だという視点に立ちました。高校生だからできない、ではなく、私たちのアイデアを育ててくれる企業と一緒に高知とラオス、両方の発展を目指したいと考えています。

知事をお願いしたいことがあります。私たちには夢があります。その夢は、「はりまや箸」だけでなく、各地の箸を取り入れた箸シリーズを生産することです。また、日本文化だけでなく、高知の文化を紹介するグッズとして、「はりまや箸」を利用していただけませんか。高校生のアイデアが世界へ羽ばたく、そのために力をお貸してください。

今、高知商業から世界へ羽ばたく活動がスタートしました。現在、高知商業オリジナルエコブランドである「LAOKOCHI」のロゴマークの商標登録、「はりまや箸」の意匠登録を特許庁に申請しました。これは商品価値、宣伝効果を高め、高知商業のオリジナル商品と



して、地域から始まる国際協力活動を一層推進することが目的です。すでに「はりまや箸」は、はりまや橋商店街さんでも高知のお土産として販売していただくことが決まりました。また、県内外企業と協力して売り出すことで、「はりまや箸」を広げていこうと考えています。そこで、高校生が企業に向けて行う「はりまや箸」商品説明会を開催したいと計画しています。私たちは、高知のお土産として全国、そして世界に向けて販売することで、国際協力活動と高知をアピールする活動に繋がると信じています。今年は映画『はりまや橋』が全国で公開され、来年は『龍馬伝』も放映されるなど、今高知をアピールする絶好のチャンスです。知事から全国に向けて「『龍馬伝』を見ながらかつおのたたきを「はりまや箸」で」と訴えていただくのはいかがでしょう。そのためにも、ぜひ「はりまや箸」を売り込んで行きたいです。ご協力よろしく申し上げます。